

平成 23 年度

事業計画書

自:平成 23 年 10 月 3 日

至:平成 24 年 3 月 31 日

財団法人 熱・電気エネルギー技術財団

当財団の目的を達成し、熱・電気エネルギー技術研究成果の発展を実現するために、平成23年度は下記の事業を実施する。

1. 調査及び研究(寄附行為第4条1号関係):継続事業

計 画:「常温核融合研究の動向調査」

近年、欧米、アジアをはじめとする国内外で、固体内において核反応では説明できない発熱が起きているとの報告が相次いでいる。特にインド、韓国がこの分野に強い意欲を示し始め、米国では権威ある米国化学会が毎年シンポジウムを開催している。多くの報告から、パラジウムやニッケル等のナノ粒子・表面のナノ(或いはサブナノ)構造が、現象発現の鍵であるという見解に収斂しつつある。また、一部の研究では、核融合の存在を示すヘリウム4の生成が報告されている。このように当該分野の進展は著しく、熱・電気エネルギー技術において見逃せないテーマである。そこで、最新の研究成果を整理し、将来の熱・電気エネルギー技術の検討に資することを目的に本調査を実施する。

契 約:平成23年7月

調査期間:平成23年9月1日～平成24年3月31日

委託金額:4,500,000円(消費税含まない)

委 託 先:2社に対して引合仕様書を依頼。

2. 情報の収集及び提供(寄附行為第4条2号関係)

予算の関係上、調査及び研究に一本化する。

3. 研究会、セミナー等の開催(寄附行為第4条3号関係):継続事業

熱・電気エネルギー技術の研究会、講演会、シンポジウムを開催する。

(1) 技術研究会の開催

① 計画:第50回技術研究会

開催日:平成23年7月8日終了

② 計画:第51回技術研究会

開催日:平成23年10月31日終了

③ 計画:第52回技術研究会

開催日:平成24年2月下旬を予定

(2) 熱・電気エネルギー技術シンポジウムを開催する。:継続事業

計 画:日本常温核融合研究会主催「JCF12」への共催

開催日:平成23年12月17日(土)・18日(日)

テーマ:「凝集系核科学」(仮題)

(3) ミノル記念講演会を開催する。:継続事業

計画:第18回ミノル記念講演会

開催日:平成23年12月8日(木)

講師:建築家 安藤忠雄 氏

4. 研究助成(寄附行為第4条4号関係):継続事業

計画:第19回研究助成の実施

募集テーマ:①新水素エネルギー技術(常温核融合・凝集系核科学から派生した研究・技術)について

②熱電変換素子技術について

③中・低温度差発電技術について

応募期間:平成23年8月10日～平成23年10月14日

選考委員会:平成23年11月17日

目録贈呈式:平成23年12月8日

総予算:10,000,000円

5. 普及及び啓発(寄附行為第4条5号関係)

① 計画:平成23年度開催の技術研究会講演録を作成、配布を行う。

② 計画:第18回ミノル記念講演会(平成23年12月8日開催予定)の講演録を作成、配布する。

③ 計画:財団会報誌第20号を平成24年3月に発行、配布する。

④ その他